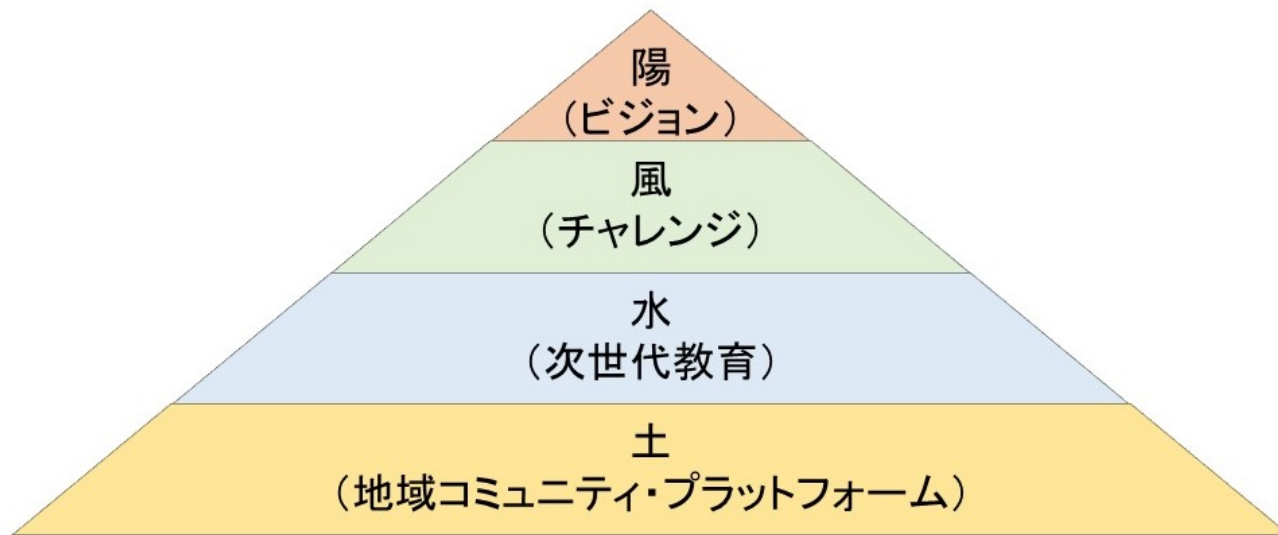


第2分科会（地方創生とDX）

活動計画（案）その2



（筧裕介『持続可能な地域の作り方ー未来を育む
「人と経済の生態系」のデザイン』英治出版（2019/5/10））

第2分科会代表・加賀山 茂

（名古屋大学・明治学院大学 名誉教授
吉備国際大学知的財産学研究科 特任教授
信山社『法と経営研究』編集共同責任者
一般社団法人 法と経営学会 会長
順正学園・AI活用研究所 副所長）



第1回 分科会の振り返り



第2分科会（地方創生とDX）の基本方針

■ 要綱

■ 1. 目的

- コロナ禍で明らかになったのは、住民と自治体の結びつきとDXを利用したデジタルデータの利活用の重要性である。この分科会では、さまざまな自治体におけるDXの現状と課題を考える。

■ 2. 参加者（17名、あいうえお順）

- 伊東栄典, 小木曾 稔, 加賀山茂, 上斗米明, 河合祐子, 佐野智也, 柴田敏郎, 高橋弘行, 西村万里子, 野上若葉, 波多江久美子, 原口誠, 原田靖博, 平田勇人, 古川一夫, 森田泰子, 渡辺靖明

■ 3. テーマ

- 地方創生とDX, および, 地方創生とSDGs(地域連携のデジタル・プラットフォームの作り方, 次世代教育への貢献策など, 段階に応じて進展する)

■ 4. 期間・規模・回数

- 第1土曜日午後5時半～7時半(当面Zoom会議)



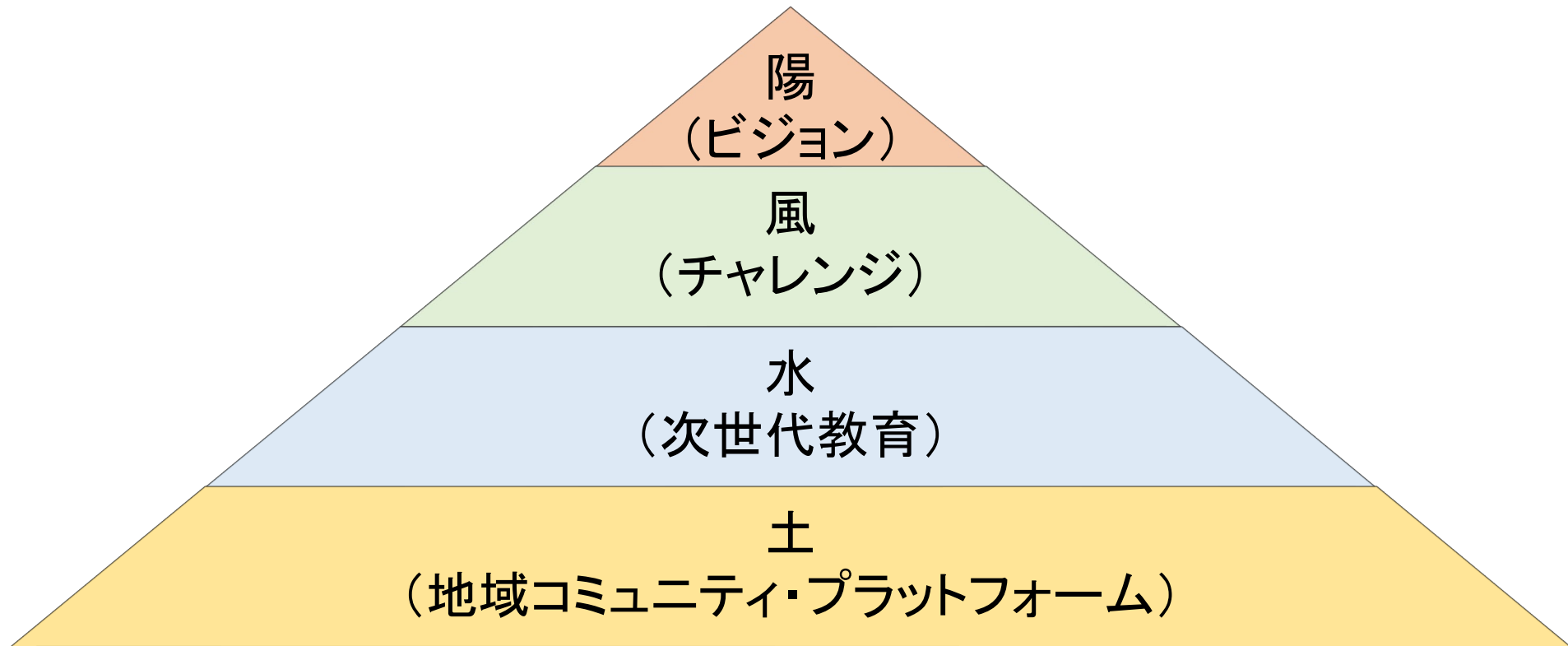
第2分科会（地方創生とDX）の目的

- 1. コミュニティを活性化するため、自らが属する自治体に関するデータ、見本となる事例に関するデータを収集し、全員が共有する。
- 2. 収集したデータをコロナ禍の経験を活かして分析し、SDGsの各項目を実現するための具体的な改革方法等（DX）を検討する。
- 3. その成果を各自が所属する自治体等への提言としてまとめたり、『法と経営研究』に投稿できる論文、研究ノート、コラム、書評等を執筆したりする。
- 以上の目的を実現するために、必要な設備、方法論等についても議論する。



持続可能な地域のための地方創生

(筧裕介『持続可能な地域の作り方ー未来を育む
「人と経済の生態系」のデザイン』英治出版(2019/5/10))



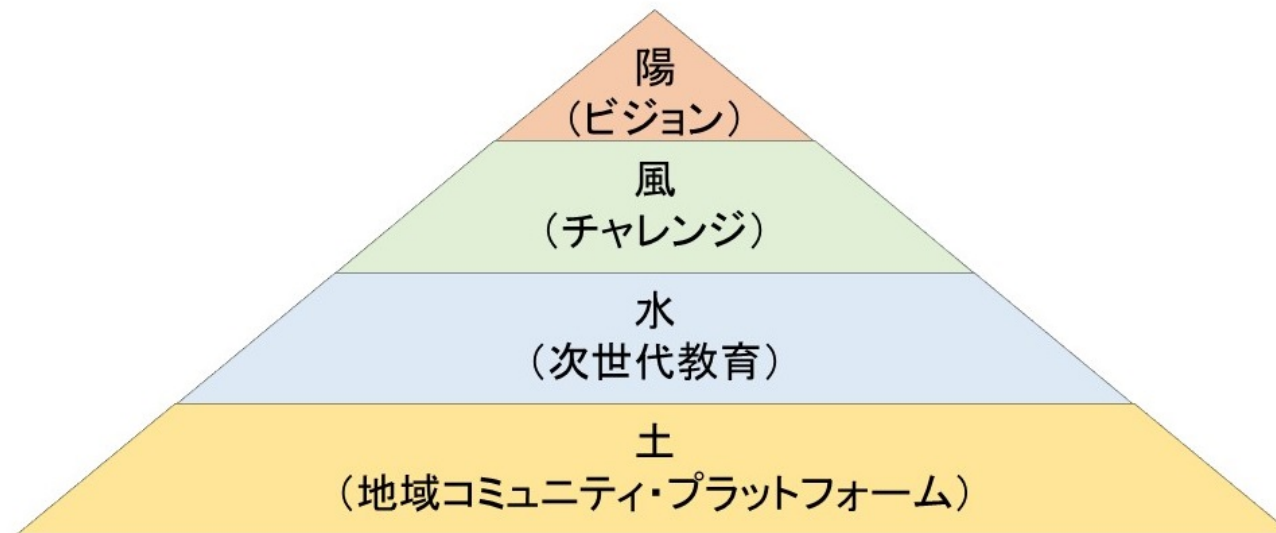
参加者(あいうえお順)

■ 参加者

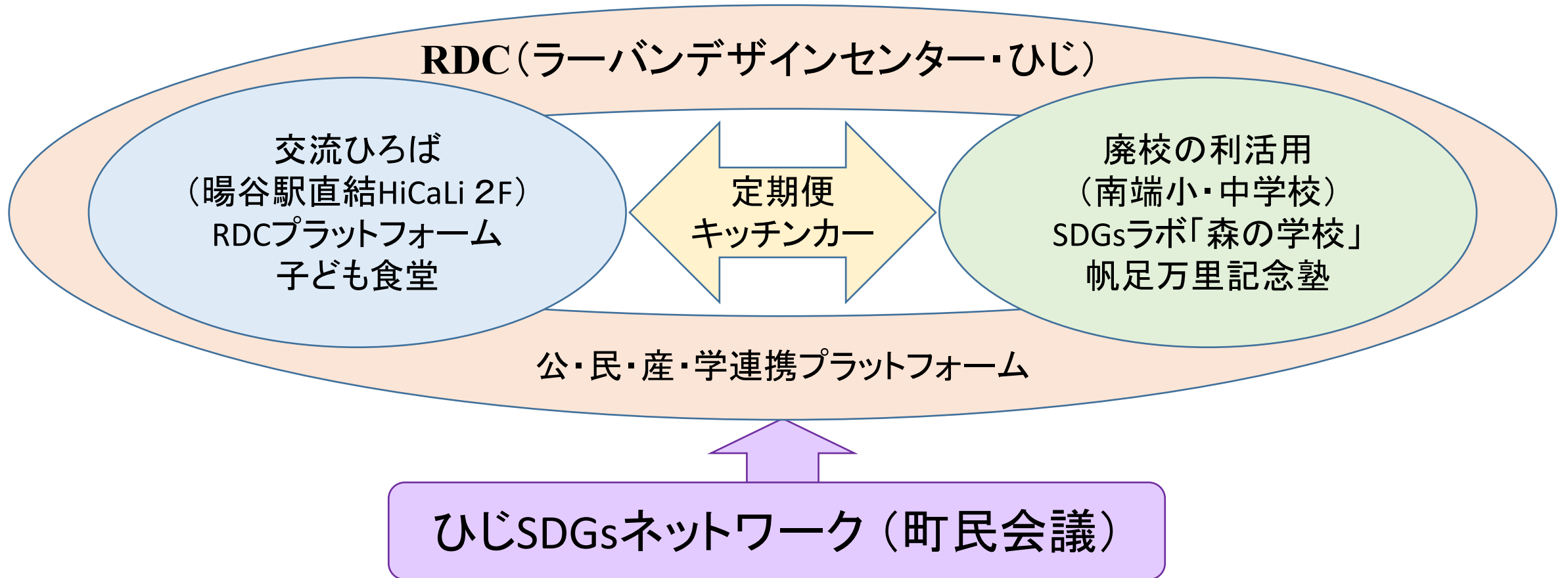
- 伊東 栄典(九州大学情報基盤研究開発センター准教授)
- 小木曾 稔(新経済連盟政策部長)
- 加賀山 茂(名古屋大学・明治学院大学名誉教授)
- 上斗米 明(パソナグループ専務執行役)
- 河合 祐子(Japan Digital Design Inc.)
- 佐野 智也(名古屋大学)
- 柴田 敏郎(中小企業診断士)
- 高橋 弘行(NHK国際放送局World News部専任部長)
- 西村 万里子(明治学院大学法学部教授)
- 野上 若葉(消費者庁)
- 波多江 久美子(明治学院大学法学部教授)
- 原口 誠(北海道大学名誉教授)
- 原田 靖博(フューチャー(株)上級顧問)
- 平田 勇人(朝日大学教授)
- 古川 一夫(パソナグループ取締役、元日立製作所社長)
- 森田 泰子(学校法人ヤマザキ学園)
- 渡辺 靖明(明治学院大学/法政大学)



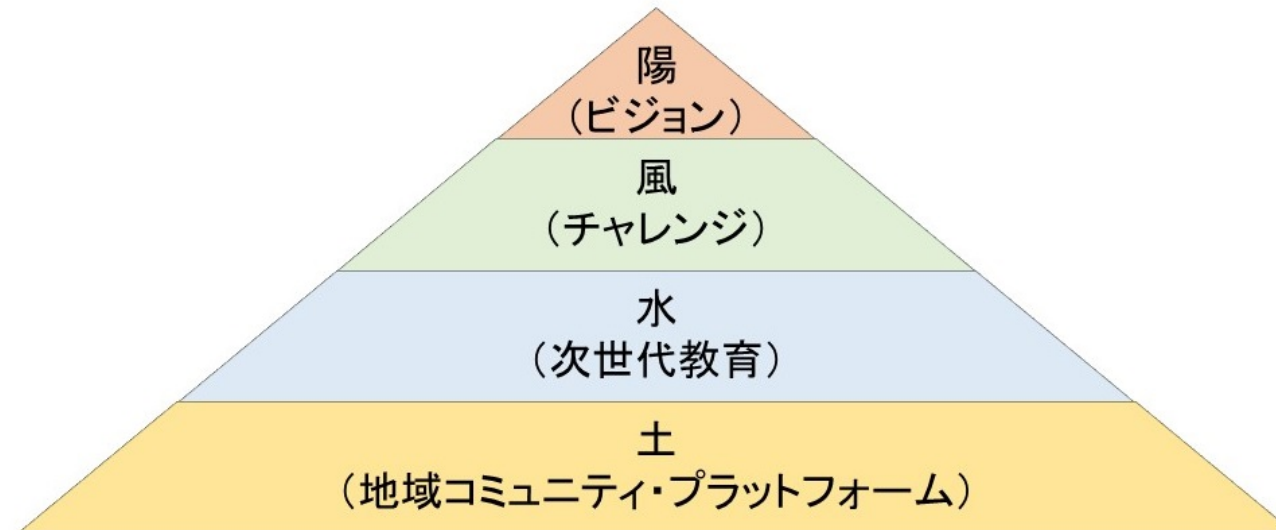
1. プラットフォーム



1. ひじSDGsネットワーク

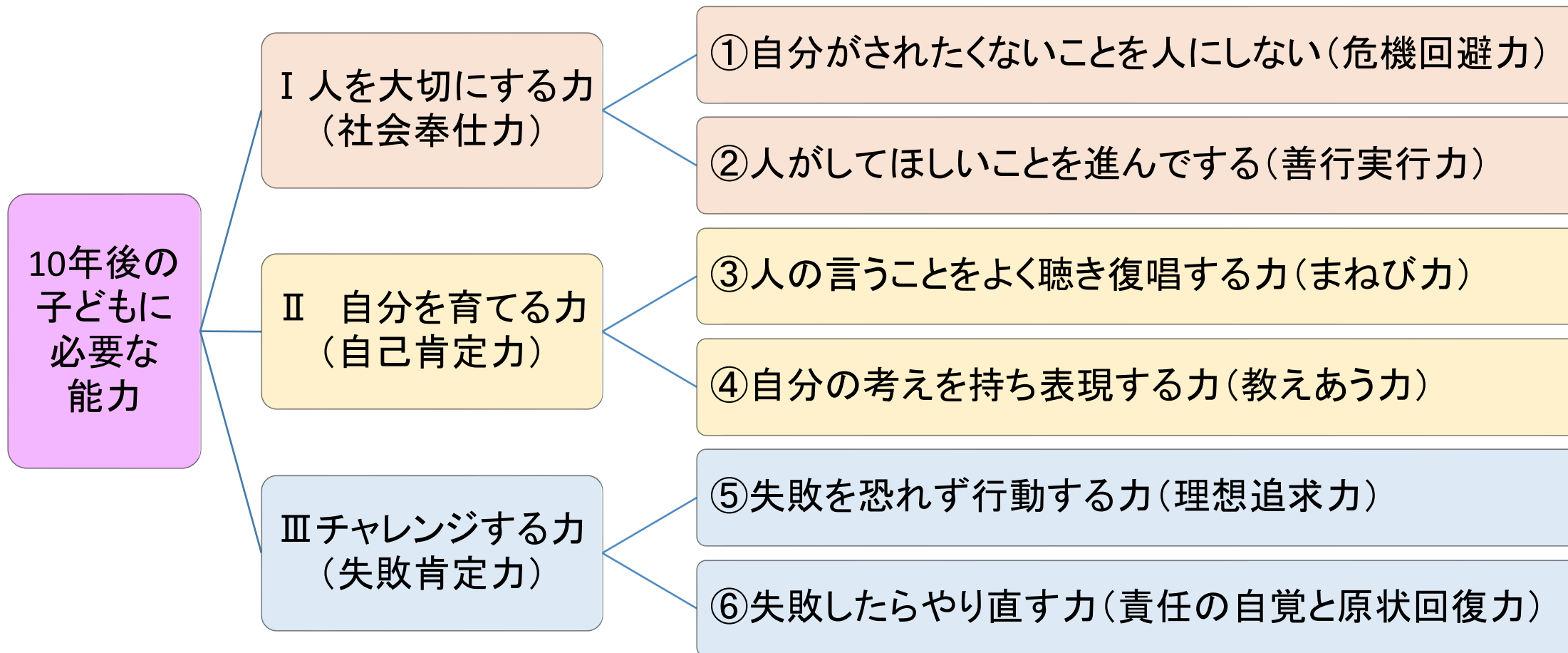


2. 次世代教育

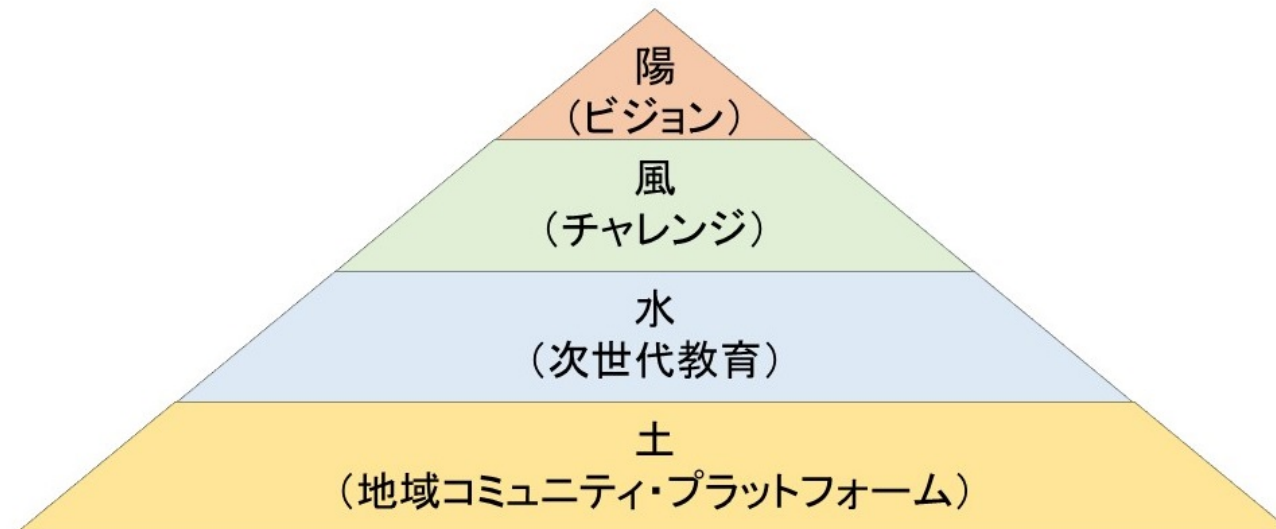


2. 10年後の子どもに必要な能力=大人も同じ

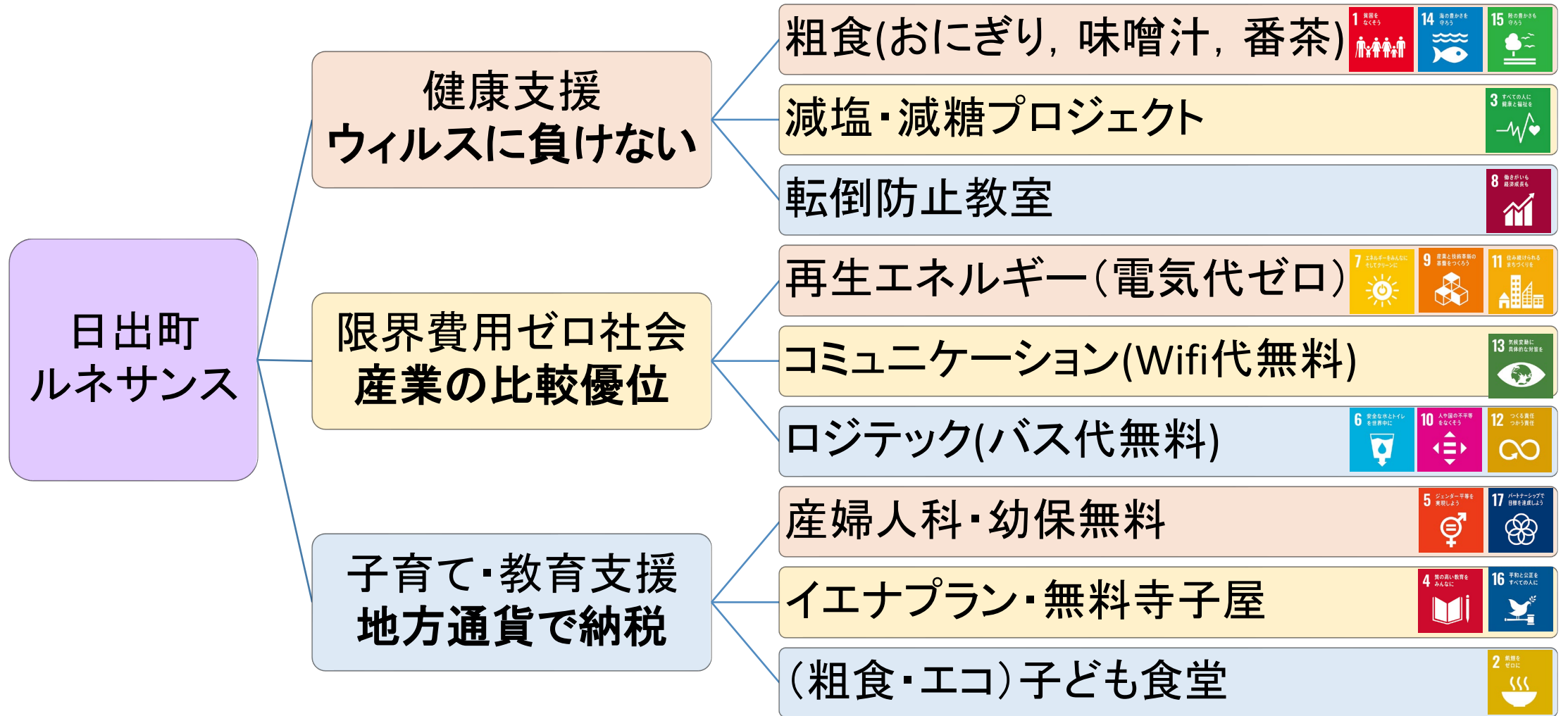
(木村泰子『10年後の子どもに必要な「見えない学力」の育て方』青春出版(2020/11/20)参照)



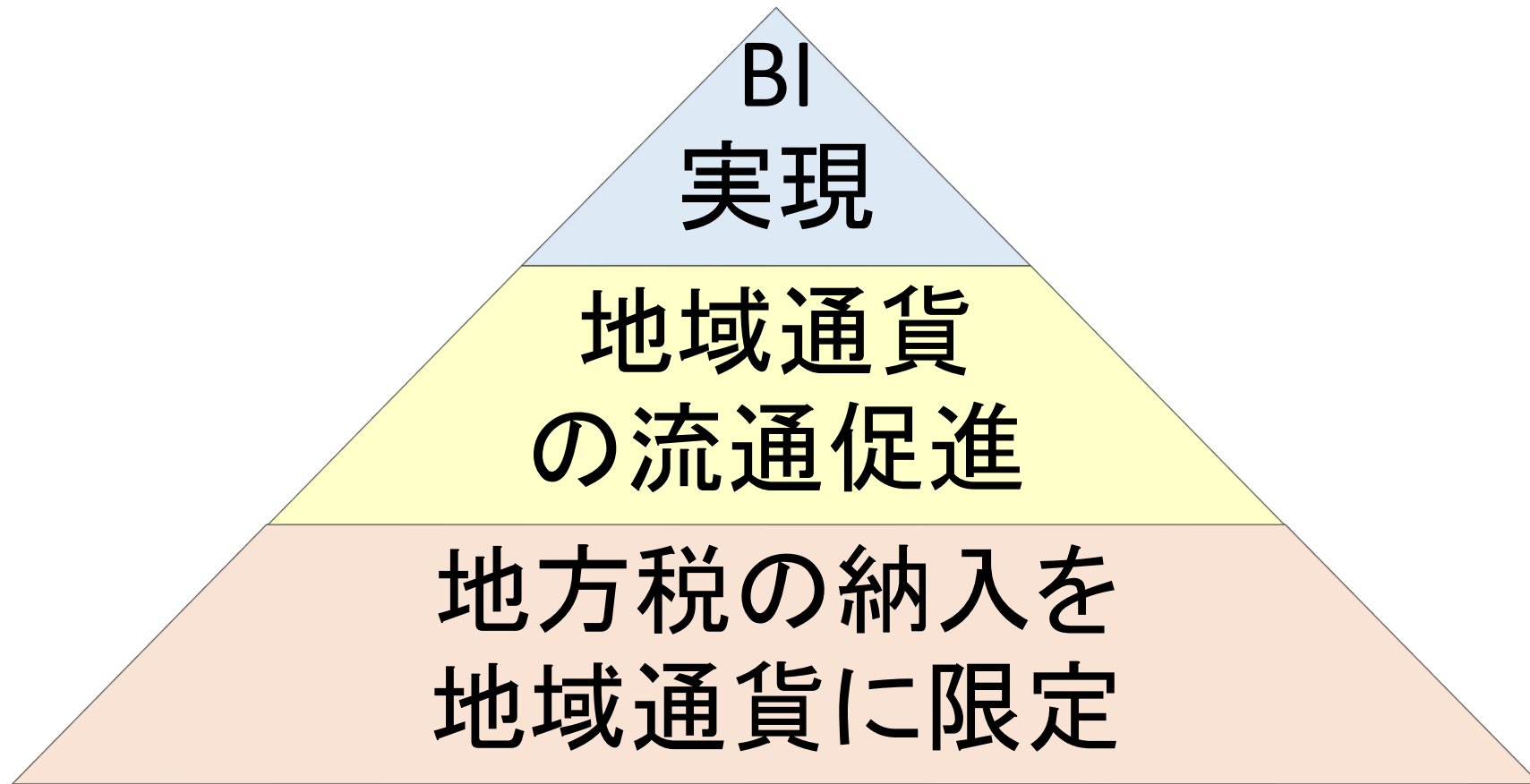
3. チャレンジ



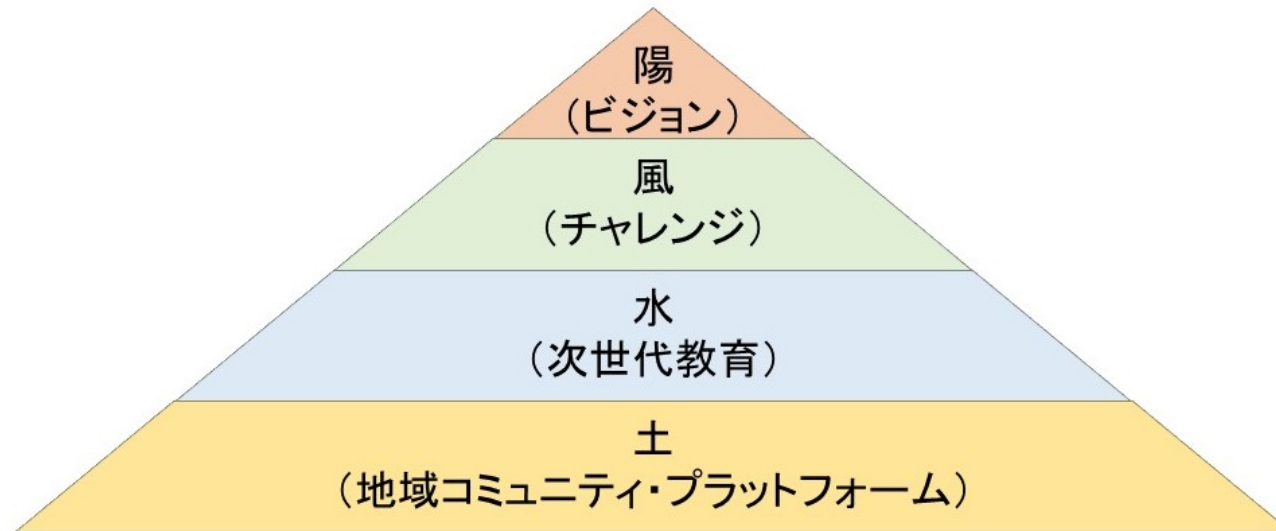
3. 日出口ロータリークラブによる町の再生プロジェクト



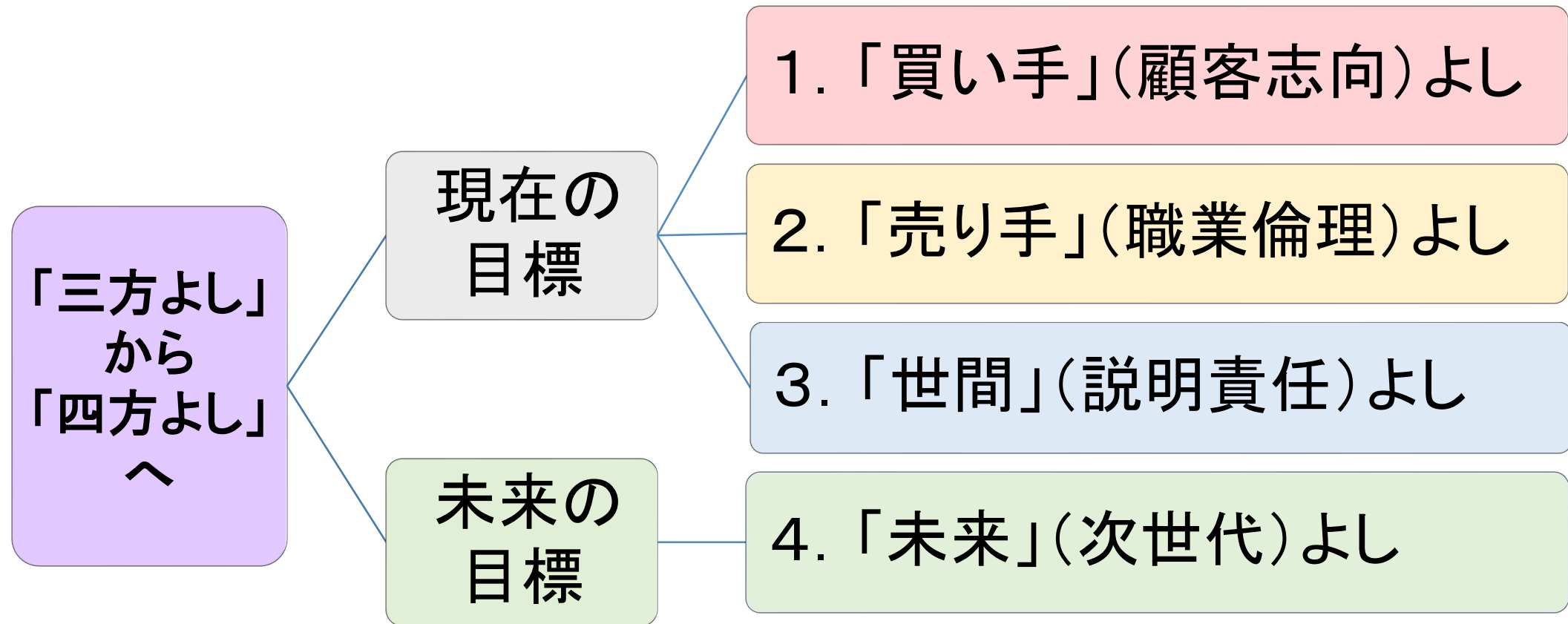
地域通貨によるBIの実現(夢想)



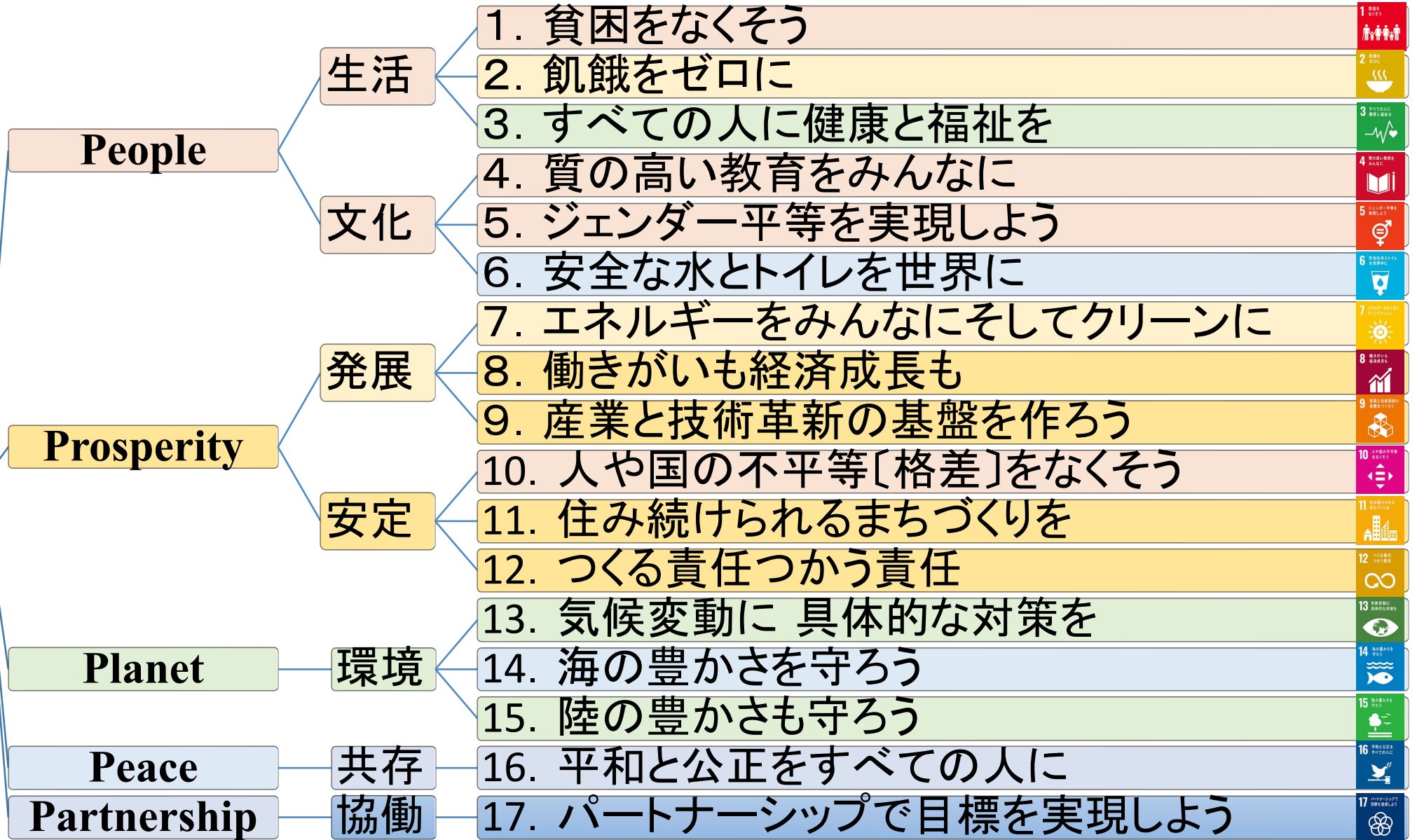
4. ビジョン



4. 近江商人の職業倫理(善行)「三方よし」からSDGs(持続的開発目標)の「四方よし」へ








**SDGs
(持続的
開発目標)
の5P
(世界規模
の善行)**










地方創生






地域経済
(納税用地域通貨)

- テレワークの推進, 起業・雇用の創出  
- 大学内・大学発のベンチャー支援 
- 地産地消の推進, 滞納者ゼロのための支援  

地域社会
(教育・健康・文化)

- 子育て教育(イエナプラン)環境の整備  
- 子ども食堂・寺子屋の設立・支援    
- 中心市街地再生・町並み保全, 定住・移住の促進 

地域環境
(限界費用ゼロ)

- 再生可能エネルギーの活用で地球温暖化阻止  
- 生物多様化と狩猟・採集の促進による共存社会へ 
- ごみゼロの促進・緑地の保全  



デジタル・プラットフォームの 構築・運用・活用



第1回の議事録から

■地方創生のためのプラットフォームの構築について

- 人の重要な心、サービス、物を結びつけるシェアリングエコノミー経済導入のために、情報プラットフォームの整備・活用が必要ではないか(原口)。
- 地域の金融機関が柔軟な発想で様々な産業分野を巻き込むような地域のデジタル・プラットフォームをつくることも考えるべきではないか(原田)。
- 中小企業では、いまだメールも使いこなせない経営者もいる。デジタル・プラットフォームを整備しても、現状では中小企業のとくに高齢な経営者は使いこなせないのではないか(柴田)。
- これに関連して、世代交代・後継者(若者)育成も今後の課題となる(加賀山)、地域の行政機関の積極的関与が必要である(原田)、との見解が示された。
- 社会的な事業・プログラムは地域のデジタル・プラットフォームへ組み込まれるのか(西村)。現在のプラットフォームでは、それはなされていないが、それを実行することは地方の行政機関の効率化にもつながる。行政機関の踏み込んだ関与が必要である(原田会員)。



地域プラットフォームの構築(1)

- 最近の提案書式の統一化の動きーロジカルモデルで提案するー
 - 第1段階
 - Input(資源)
 - Activity(活動)
 - Output(結果)
 - 第2段階
 - Outcome1(短期的成果)
 - Outcome2(中期的成果)
 - Outcome3(長期的成果)



地域プラットフォームの構築(2)

- 地域プラットフォームの構想
 - 資源
 - ヒト(年齢, 女男, 職業の多様性の確保)
 - モノ(リアルな交流の場, サイバー上の交流の場)
 - カネ(寄附, 補助金, 地域通貨)
 - 活動
 - 地域創成のためのデータの収集と分析
 - 地域創成のための集合知の創造
 - 集合知に基づく実践活動
 - 結果
 - 恒常的な地域プラットフォームの維持・運営
 - プラットフォーム上での何でも相談の実現
 - 創作物・情報の交換と決済



地域プラットフォームの構築(3)

- 地域プラットフォームの社会的影響評価
 - 短期的成果
 - 地域連携プラットフォームの維持・運営
 - SDGsの実現に関する知見の共有
 - 相対的貧困の半減のための提言
 - 中期的成果
 - 教育の機会均等とジェンダー平等の実現のための提言
 - エネルギー自給の実現のための提言
 - 産業と技術革新の基盤の整備
 - 長期的成果
 - 気候変動に関する具体的対策の提言
 - 地域通貨によるBIの実現
 - SDGsの全目標の達成



参考文献

- ヒトの本質に迫る
 - 岸見一郎『アドラー心理学入門ーよりよい人間関係のために』ベストセラーズ (1999/09)
 - 福岡伸一『できそこないの男たち』光文社新書 (2008/10/20)
 - 福岡伸一『新版 動的平衡1ー生命はなぜそこに宿るのか(生命とは何か)ー』小学館新書 (2017/6/5)
- 法律家の思考方法
 - カイム・ペレルマン(江口三角 訳)『法律家の論理ー新しいレトリック』木鐸社 (1986)
 - 加賀山茂『現代民法 学習法入門』信山社 (2007)
- 人間の尊厳
 - ドナ・ヒックス(ノ・ジェス(監修), ワークス叔悦(訳))『Dignityディグニティ』幻冬舎
 - 大川繁子『92歳の現役保育士が伝えたい親子で幸せになる子育て』実務教育出版 (2019/9/11)
 - 幕内秀夫『子どもをじょうぶにする食事は、時間も手間もかからない』ブックマン社 (2019/10/10)
- オンライン教育
 - 石戸奈々子編『日本のオンライン教育最前線ーアフターコロナの学びを考える』明石書店 (2020/10/1)
- イエナプラン・モンテッソーリ教育
 - リヒテルズ直子『今こそ日本の学校に！ イエナプラン実践ガイドブック』教育開発研究所 (2019/9/1)
 - 伊藤美佳=齋藤恵(マンガ)『マンガでよくわかるモンテッソーリ教育×ハーバード式 子どもの才能の伸ばし方』かんき出版 (2020/2/17)
 - 木村泰子『10年後の子どもに必要な「見えない学力」の育て方』青春出版 (2020/11/20)
- コロナ時代を生き抜く
 - 館岡康雄『利他性の経済学ー支援が必然となる時代へー』新曜社 (2006/4/1)
 - ジェレミー・リフキン(柴田裕之訳)『限界費用ゼロ社会ーモノのインターネットと共有型経済の台頭ー』NHK出版 (2015/10/27)
 - L・ランダル・レイ(中野 剛志=松尾 匡・解説, 島倉 原=鈴木 正徳・訳)『MMT 現代貨幣理論入門』東洋経済新報社 (2019/8/30)
 - 蟹江憲史『SDGs(持続可能な開発目標)』中公新書 (2020/8/20)
 - 南博=稲場雅紀『SDGsー危機の時代の羅針盤』岩波新書 (2020/11/20)
 - 箕裕介『持続可能な地域の作り方ー未来を育む「人と経済の生態系」のデザイン』英治出版 (2019/5/10)

